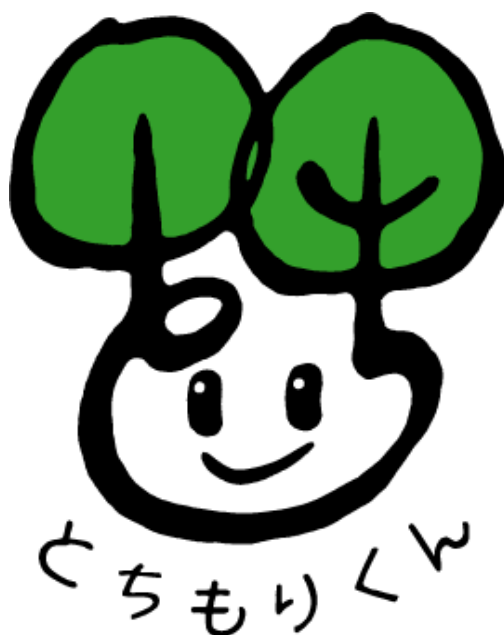


令和元(2019)年度

とちぎの元気な森づくり県民税事業

評価報告書



令和 2(2020)年11月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

I	評価結果	・・・	1
II	とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価	・・・	3
	i	基金及び財源	・・・ 3
	ii	各事業の実施状況	・・・ 4
		1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	・・・ 5
		2 とちぎの元気な森づくり木造木質化等事業	・・・ 6
		3 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	・・・ 7
		4 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業	・・・ 8
		5 とちぎの元気な森づくり県民会議等事業	・・・ 8
		6 とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業	・・・ 9
	iii	森林の若返りと公益的機能の効果	・・・ 10
		1 森林の若返りの実績	・・・ 10
		2 森林の若返りによる公益的機能の効果	・・・ 11
	iv	県民意識調査結果	・・・ 12
III	森林環境譲与税事業の実施状況	・・・	13
	i	譲与額	・・・ 13
	ii	森林環境譲与税事業の実施状況	・・・ 13
IV	とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の一体的評価	・・・	15
	i	課題へ対応した両税の取組	・・・ 15
	ii	両税事業の一体的評価	・・・ 16
	【参考】	本県の森林・林業の現状・課題	・・・ 17
○	とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿	・・・	21

I 評価結果

とちぎの元気な森づくり県民税事業の透明性・公平性を確保するため、令和元(2019)年度事業の執行状況や効果について検証、評価を行った。

県は、今回のこの評価結果を十分に踏まえ、県民の皆様の理解と協力のもと、今後の事業を推進されたい。

□ 総合評価

- 令和元(2019)年度とちぎの元気な森づくり県民税事業については、重点取組である森林の若返り（皆伐後の再造林等）をはじめ、各事業とも適正かつ着実に実施され、本県森林の公益的機能の維持増進に効果を発揮した。
- とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の取組は、本県の森林・林業の課題に対応し、適正に実施されていた。

□ とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価

1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

針葉樹林の皆伐後の再造林や広葉樹への樹種転換等、森林の若返りを支援するものであり、計画395haに対して実績374ha(実施率94.6%)となった。今後の森林の若返りを着実に進めるためには、施行地の集約化の促進、生産性向上に向けた取組が重要と考える。

2 とちぎの元気な森づくり木造木質化等事業

中大規模建築物の木造・木質化等を支援し、木に親しむ環境づくり及び県産材の利用促進を図るものであり、公共施設や民間集客施設等7施設の木造・木質化や、学校等18施設において、木製品整備が行われていた。また、とちぎ材利用創出強化事業では、建築士に対する中大規模建築物の木造化に係る講習会が開催され木材利用の普及が図られていた。

なお、視察した民間木造施設では、梁桁等の構造材のみならず、オープンスペース等の内装材に木材の良さが効果的に伝わるよう県産スギ等が利用され、木材利用のPR効果の高い施設となっていた。

3 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

地域団体等が行う里山林の整備を支援し、住民の生活環境を保全するものであり、通学路の安全確保や獣害対策などを目的に、すべての市町で計2524haの整備・管理が行われていた。

なお、今後ともこうした活動を継続するには、担い手の高齢化、後継者不足といった地域の実情にどう対応していくかが課題と考える。

4 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

境界や所有者が不明な森林の境界等を明確にし、森林を適正に管理するための基盤を整備するものであり、栃木県森林組合連合会による地籍調査事業（2市3地区278ha）に支援が行われていた。

なお、地籍調査は、航空レーザー計測による新たな手法を導入し、所有者の立会や測量作業の効率化が図られていた。

過疎化や高齢化で境界等不明森林の解消が課題となる中、引き続き、デジタル技術の活用により林地の地籍調査を円滑かつ迅速に進めていくことが重要であると考える。

□ とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の一体的評価

とちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税については、令和元（2019）年度に用途の適切な整理がなされた。令和元（2019）年度は用途の整理中であったため、法の趣旨に明らかに合致するものについて譲与税事業として実施されていた。

なお、森林環境譲与税が導入され、まだ1年目の実績であるが、約79%が基金積立金となっているため、市町における森林経営管理制度の円滑な運用と森林環境譲与税の効果的な活用に向け、今後も県の積極的な支援が重要と考える。

Ⅱ とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価

とちぎの元気な森づくり県民税を活用した令和元(2019)年度とちぎの元気な森づくり事業については以下のとおり。

i 基金及び財源

1 とちぎの元気な森づくり基金の状況

(単位：千円)

平成30年度末残高 A	積立額 B	取崩額 C	令和元年度末残高 A + (B - C)
631, 838	884, 680	591, 879	924, 639

【積立内訳】

(単位：千円)

区分	H30(2018)	R元(2019)	増減
とちぎの元気な森づくり 県民税収相当額等	883, 742	881, 202	▲ 2, 540
寄附金	3, 112	3, 371	259
利子	43	107	64
計	886, 897	884, 680	▲ 2, 217

2 とちぎの元気な森づくり事業

1, 102, 556 千円

【財源内訳】

とちぎの元気な森づくり基金繰入金	591, 879 千円
国庫補助金等	510, 677 千円

※金額は千円単位四捨五入のため内訳が合わない場合がある

ii 各事業の実施状況

【事業計画・実績一覧】

事業区分	計 画			実 績		
	事業量	事業費		事業量	事業費	
		(千円)	うち県民税		(千円)	うち県民税
1 とちぎの元気な森づくり 未来の森整備事業	395ha	771,824	348,659	374ha	701,651	303,308
(1) 再造林・樹種転換促進事業	395ha	753,658	330,493	374ha	684,135	285,792
(2) 次世代林業技術検証事業	1式	6,376	6,376	1式	6,336	6,336
(3) 事業推進費	1式	11,790	11,790	1式	11,180	11,180
2 とちぎの元気な森づくり 木造・木質化等事業	19件	120,961	120,961	25件 (2件)	99,462 (20,000)	99,462 (20,000)
(1) 木造・木質化支援事業	8件	80,021	80,021	5件 (2件)	49,897 (20,000)	49,897 (20,000)
(2) 木造・木質化推進事業	2件	17,925	17,925	2件	17,925	17,925
(3) 木製品整備支援事業	9件	20,000	20,000	18件	29,371	29,371
(4) 県産木材利用促進協議会運営費	1式	620	620	1式	619	619
(5) とちぎ材利用創出強化事業	1式	2,395	2,395	1式	1,650	1,650
3 とちぎの元気な森づくり 里山林整備事業	4,382ha	273,815	236,540	2,524ha	228,764	142,322
(1) 里山林整備事業	401ha	74,765	37,490	772ha	137,739	51,297
(2) 里山林管理事業	3,981ha	199,050	199,050	1,752ha	91,025	91,025
4 とちぎの元気な森づくり 森林所有対策事業	2市町	62,042	24,067	2市 (0市)	46,492 (10,434)	20,599 (4,614)
(1) 森林組合等地籍調査事業	2市町	62,042	24,067	2市 (0市)	46,492 (10,434)	20,599 (4,614)
5 とちぎの元気な森づくり 県民会議等事業	-	4,912	4,912	-	4,460	4,460
(1) とちぎの元気な森づくり 県民会議事業	1式	781	781	1式	477	477
(2) とちぎの元気な森づくり 県民普及啓発事業	1式	4,131	4,131	1式	3,983	3,983
6 とちぎの元気な森づくり 地域活動支援事業	-	26,194	26,194	-	21,727	21,727
(1) 森づくり支援事業	22件	15,000	15,000	53件	11,462	11,462
(2) 森づくりサポート事業	1式	11,194	11,194	1式	10,265	10,265
計	-	1,259,748	761,333	-	1,102,556 (1,132,990)	591,879 (616,493)

※表中下段カッコ書き()はR1からR2への繰越額
 ※金額は千円単位未満四捨五入のため内訳が合わない場合がある

1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

◆ 事業実績

事業量	整備面積	374 ha [※]
事業費		701,651 千円（うち県民税 303,308 千円）

◆ 事業内容

(1) 再造林・樹種転換促進事業（国庫補助事業の施行地を含む）

① 造林事業

針葉樹の皆伐後の地拵え、植栽、下刈りを行い、針葉樹の再造林及び、広葉樹への樹種転換を進めました。

区分	面積	市町
地拵え、植栽 [※]	374ha	16市町
下刈り	579ha	15市町



② 路網整備事業

植栽を行うための作業道を開設し、植栽後の下刈りなどの保育管理にも活用しました。

区分	事業量	市町
森林作業道	38,653m	8市町



③ 獣害対策促進事業

植栽した苗木への薬剤の散布等によりシカからの食害を防止しました。また、成木の幹にネットを巻いてクマ等による皮剥き被害を防止しました。

区分	面積	市町
食害対策	427ha	8市町
剥皮対策	368ha	4市町



※ 施行地が重複するため事業総面積から除外

(2) 次世代林業技術検証事業

低コスト林業のための大苗木植栽等の検証を行いました。

(3) 事業推進費

審査等、事業施行のための経費



2 とちぎの元気な森づくり木造木質化等事業

◆ 事業実績

事業量	整備箇所	25 箇所	
事業費	99,462 千円（うち県民税	99,462 千円）	
	[繰越：20,000 千円（うち県民税	20,000 千円）]	

◆ 事業内容

(1) 木造・木質化支援事業

中大規模建築物における県産木材の利用促進のため、市町、民間事業者による建築物の木造・木質化を支援しました。

区分	木造化	木質化	計	市町
市町	-	1件	1件	1市町
民間	4件	-	4件	4市町
計	4件	1件	5件	5市町

- ・あそ野学園義務教育学校 校舎 木質化
 - ・歯科医院 木造化
- 他



(2) 木造・木質化推進事業

県が自ら率先して県産木材を利用するため、県有施設の木造化等を推進しています。 完成：令和2(2020)年度

区分	木造化	木質化	計	市町
施設数	2件	-	2件	2市

- ・宇都宮白楊高等学校 部室 木造化
- ・今市工業高等学校 部室 木造化



(3) 木製品整備支援事業

木に親しむ環境づくりを行うため、木材の特性を体感できるような県産木材による木製品の整備に対して支援しました。

区分	件数	市町
木製学習用机・椅子	6件	6市町
公共スペース木材利用	12件	12市町
計	18件	13市町

市町計は、実市町数



- (4) 県産木材利用促進協議会運営費 木づかい条例や木づかい活動の普及啓発
- (5) とちぎ材利用創出強化事業 中大規模木造建築物の普及のための講習会等

3 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

◆ 事業実績

事業量	整備面積	772 ha
	管理面積	1,752 ha
事業費	228,764 千円（うち県民税 142,322 千円）	

◆ 事業内容

(1) 里山林整備事業

① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業

地域の提案による里山林整備の実施により、里山林の価値を掘り起こし、地域の継続的な里山林管理を支援しました。



② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業

通学路等に隣接する里山林の見通しを確保し、安全・安心な環境づくりを支援しました。



③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

野生獣被害の軽減のため、田畑に隣接する里山林の整備・管理に対して支援しました。

④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業

里山林の保全活動に資する里山林の保全・整備活動等に対して国の補助事業と一体となって支援しました。



(2) 里山林管理事業

第1期(平成20～29年度)で整備した里山林の管理活動に対し支援しました。

〈 一 覧 表 〉

区 分	面 積	市 町
里山林整備事業	772ha	21市町
① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業	58ha	10市町
② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業	23ha	3市町
③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業	116ha	10市町
④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業	576ha	19市町
里山林管理事業	1,752ha	21市町
計	2,524ha	25市町

市町計は、実市町数

面積は、四捨五入のため内訳と計が一致しない

4 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

◆ 事業実績

事業量	2 市	(3 地区278 ha)
事業費	46,492 千円	(うち県民税 20,599 千円)
	[繰越 : 10,434 千円	(うち県民税 4,614 千円)]

◆ 事業内容

(1) 森林組合等地籍調査事業

境界等の不明確な森林について、栃木県森林組合連合会によるリモートセンシング技術を活用した地籍調査事業（2市（大田原市、那須烏山市）、3地区、278ha）に対し、支援を行いました。

5 とちぎの元気な森づくり県民会議等事業

◆ 事業実績

事業量	新聞等広告	2 件
事業費	4,460 千円	

◆ 事業内容

(1) とちぎの元気な森づくり県民会議事業

県民協働の森づくりの推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」の活動を支援しました。

区分	回数
定期総会	1回
活動数	1回



(2) とちぎの元気な森づくり県民普及啓発事業

県民税事業の成果等についてイベント出展や新聞広告等をとおして普及啓発等を行いました。

区分	件数
新聞広告	1件
テレビ広告	1件
計	2件



6 とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業

◆ 事業実績

事業量	53 件
事業費	21,727 千円

◆ 事業内容

(1) 森づくり支援事業

- ① 木の良さ普及啓発事業
市貝町主催の木工教室など地域住民への木の良さ、木材利用の促進に関する普及啓発の取組を支援しました
- ② 森づくり活用推進事業
那須烏山市江川小の植樹祭など地域住民の森づくり活動や、その活動を促進する取組を支援しました
- ③ 森林環境学習活動
真岡市大内東小の学校林における森林環境学習など森づくり活動の普及促進のため、生徒への森林環境学習の実施等の取組を支援しました
- ④ 地域の創意工夫を凝らした特色ある取組
湯西川温泉森林愛護会のトレッキング講習会や森林環境学習など森づくり活動を促進する取組を支援しました



市貝町



那須烏山



真岡市

区分	活動数	市町
木の良さ普及啓発	19件	15市町
森づくり活動推進	21件	13市町
森林環境学習	12件	8市町
地域の創意工夫	1件	1市町
計	53件	22市町

市町計は、実市町数

(2) 森づくりサポート事業

里山林等の持続的な保全のための森林ボランティアの育成・確保等に取り組みました。

- ・ 森づくり活動情報の収集・発信
- ・ 森林ボランティアの募集登録
- ・ ボランティア活動に必要な資機材の貸し出し
- ・ 里山林整備の人材育成講座の開催（とちぎ里山塾）
- ・ 企業等による森づくりの活動支援
- ・ 企業と森づくり活動団体とのマッチング（とちぎ地域森づくりフォーラム）



とちぎ里山塾



森づくりフォーラム

iii 森林の若返りと公益的機能の効果

1 森林の若返りの実績

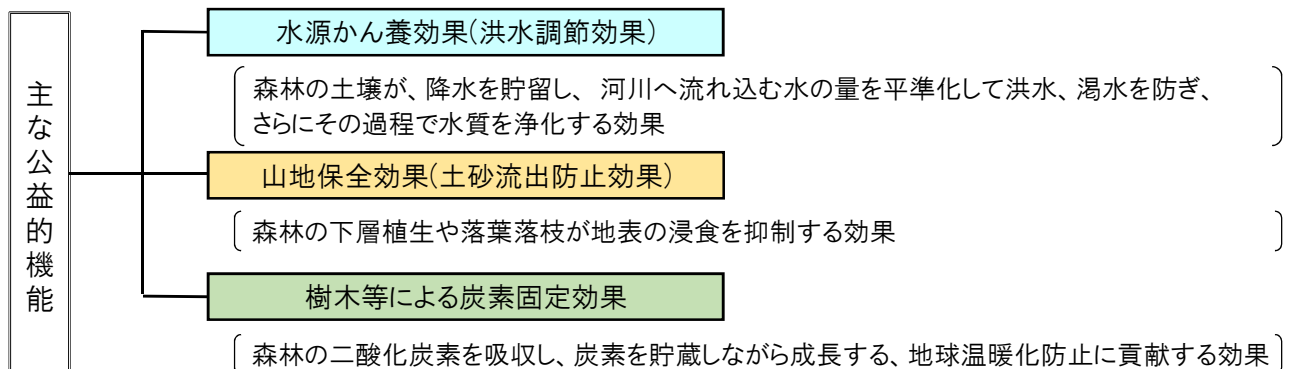
10年間の計画6,000haのうち、令和元(2019)年度は374haの森林の若返り(植栽)を実施

区 分	事業量	
	計画 a	実績 b
森林の若返り (植栽)	395 ha	374 ha
累計 (2年目/10年)	760 ha	716 ha

- ① 年度事業の実行率 (b/a) 94.7%
- ② 森林の若返りの目標達成度 (b(累計)[※]/6,000) 11.9% 《※10年中2年目累計》
 (b(累計)/ a(累計)[※]) 94.2% 《※10年中2年目までの目標累計》

2 森林の若返りによる公益的機能の効果

令和元(2019)年度の森林の若返り(植栽)により、主に次の公益的機能が発揮されます

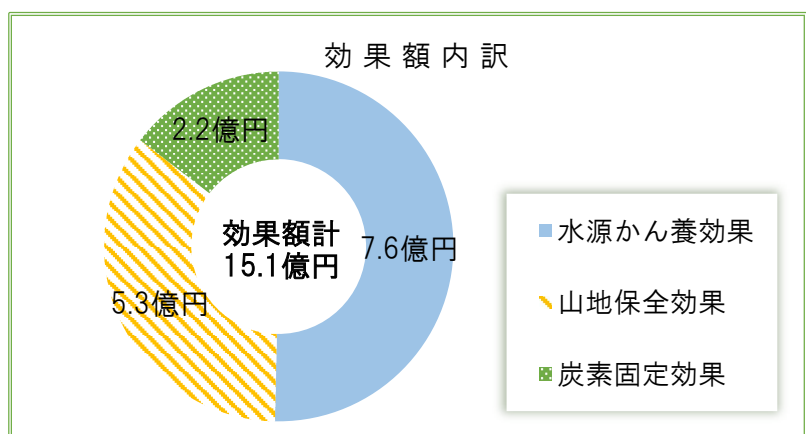


令和元(2019)年度に
森林の若返り(植栽)を
374ha 実施しました。

事業実施後、60年間(※)に15.1億円の効果が発揮されます。
(※スギ林が更新を行うまでの期間：公共事業の評価準用)



植 栽



効果額の算定は「林野公共事業における事業評価マニュアル」による

主な公益的機能の効果

水源かん養効果（洪水調節効果）

森林の若返り374haでは、雨水を地中に浸透させ、大雨の時間当たり31000m³の水の流出を調節

31,000 m³：学校のプール約78個分

※ 学校の25mプールは約400m³

1時間あたりプール約78個分に当たる水の流出を調節する働きが高まりました



60年間の効果額：7.6億円（効果を治水ダムの年間減価償却費で計算）

山地保全効果（土砂流出防止効果）

森林の若返り374haでは、年間6200m³の土砂流出を防止

6,200m³：大型ダンプ約1,200台分

※ 「森林整備保全事業標準歩掛」
：10tダンプの土砂積載量は1台当たり5.3m³

年間大型ダンプ約1200台分の土砂流出を防止する働きが高まりました



60年間の効果額：5.3億円（効果を砂防ダムの建設コストで計算）

樹木等による炭素固定効果

森林の若返り374haでは、CO₂換算で年間1700 tCO₂の炭素が森林に固定

1,700 tCO₂：一般家庭約380世帯が年間に排出する二酸化炭素

※ 温室効果ガスイベントオフィス：1世帯(2.2人)が年間に排出するCO₂は4,520kgCO₂

毎年、一般家庭約380世帯が排出する炭素を森林に固定する働きが高まりました



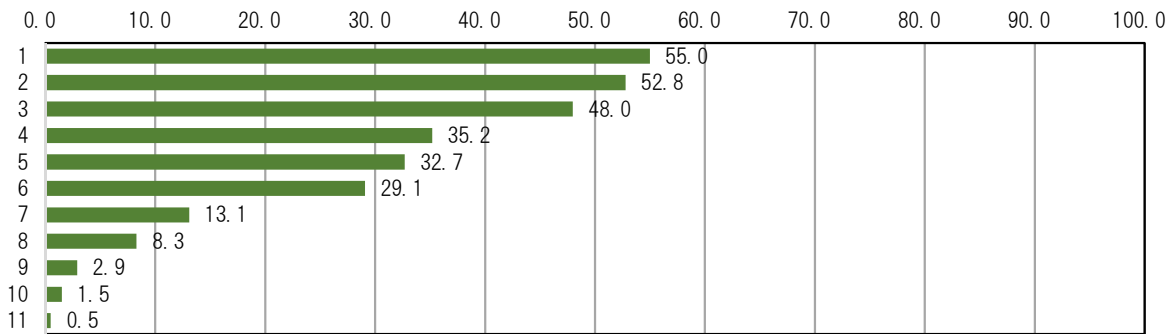
60年間の効果額：2.2億円（効果を二酸化炭素排出量取引価格で計算）

iv 県民意識調査結果

【森林の重要なはたらき】

森林には、様々な働きがあります。あなたが、特に重要だと考える森林の働きはどれですか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,307]

	R 2	(R元)
1 洪水などの災害を防止する働き	55.0	(50.7)
2 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き	52.8	(55.9)
3 水資源を蓄える働き	48.0	(50.2)
4 野生動植物の生息の場としての働き	35.2	(31.4)
5 空気をきれいにしたり、騒音を和らげるなどの環境を快適に保つ働き	32.7	(33.9)
6 自然に親しみ、癒しや安らぎの場としての働き	29.1	(26.5)
7 生活に必要な木材や燃料チップ、きのこなどを供給する働き	13.1 %	(12.6)
8 自然と人との関わりを学ぶなど教育の場としての働き	8.3	(7.8)
9 わからない	2.9	(3.9)
10 無回答	1.5	(1.3)
11 その他	0.5	(0.4)

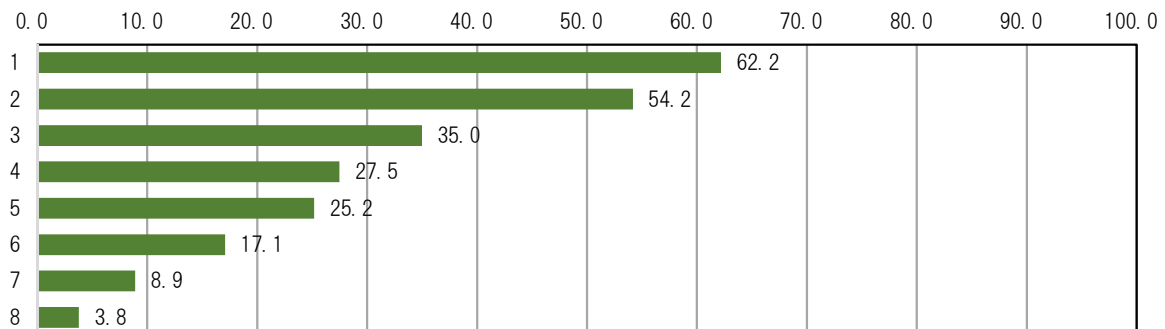


【とちぎの元気な森づくり県民税で特に重要と思う取組】

栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要だと思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,307]

	R 2	(R元)
1 通学路等の見通しを良くしたり、野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること	62.2	(51.7)
2 森林の若返りを進めるため、皆伐後の植栽や下草刈り、獣害対策などへの支援をすること	54.2 %	(49.8)
3 所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること	35.0	(29.7)
4 里山林で活動するボランティアの育成や、地域での森づくり活動等への支援をすること	27.5	(21.8)
5 手入れのできない針葉樹林を管理の容易な広葉樹林へ転換していくこと	25.2	(23.3)
6 森林の働きや「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組を普及啓発すること	17.1	(16.0)
7 わからない	8.9	(13.1)
8 無回答	3.8	(1.9)

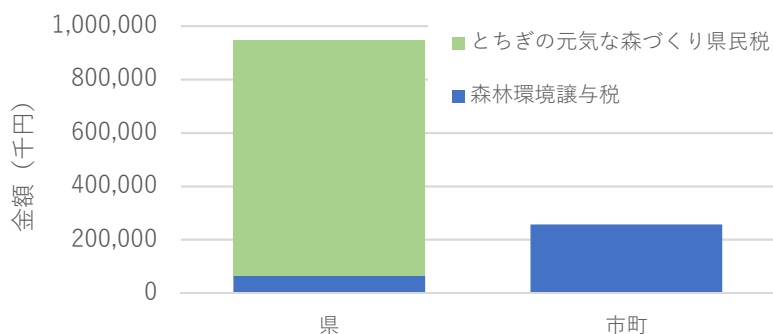


出典：R2 栃木県政世論調査速報値

Ⅲ 森林環境譲与税事業の実施状況

i 譲与額

	森林環境譲与税	(参考) 県民税 税収
県	64,056	881,202
市町	256,215	
計	320,271	881,202



ii 森林環境譲与税事業の実施状況

県事業 譲与額 64,056 千円

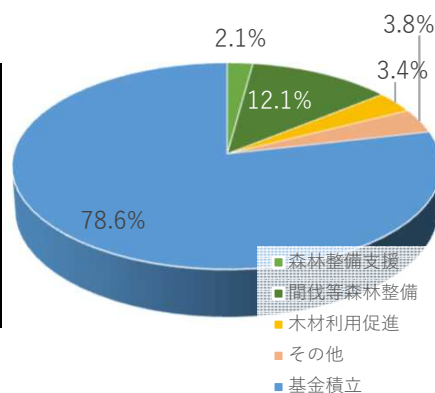
区分	金額	構成比
市町の森林整備支援		
森林クラウドシステム導入基礎調査	5,390 千円	8.4 %
技術的業務に係る市町支援機関の体制整備	1,485 千円	2.3 %
計	6,875 千円	10.7 %

市町事業 譲与額 256,215 千円

区分	市町数	金額	構成比
間伐等の 森林整備	森林経営 意向調査(準備含む) 管理計画 集積計画等	10 市町 40 %	36,812 千円 14.4 %
	その他	3 市町 12 %	1,936 千円 0.8 %
	小計(※実施市町数は区分計とは一致しない)	11 市町 44 %	38,748 千円 15.1 %
森林整備 促進策	木材利用促進	2 市町 8 %	10,798 千円 4.2 %
	その他	1 市町 4 %	12,276 千円 4.8 %
	小計(※実施市町数は区分計とは一致しない)	2 市町 8 %	23,074 千円 9.0 %
計	11 市町 44 %	61,822 千円 24.1 %	

【事業費執行率：県全体】

	譲与額 A	執行額 B	差額(基金積立) A-B	割合 B/A
県	64,056 千円	6,875 千円	57,181 千円	10.7 %
市町	256,215 千円	61,822 千円	194,393 千円	24.1 %
計	320,271 千円	68,697 千円	251,574 千円	21.4 %



【基金積立金の執行方針】

- 県・森林整備支援 (森林経営管理法に基づく市町による森林整備の支援に備えた積立)
- 市・森林整備 19 市町 (今後増大すると予測される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備に備えた積立)
- 町・森林整備促進 8 市町 (庁舎等公共施設の木造・木質化、木製品配布等)

【主な市町事業の紹介】



モデル地区森林所有者向け説明会



集積計画策定に向けた現況調査



森林経営管理委員会の設立（会議状況）



意向調査用紙送付準備



「日光の木」利用促進事業による木材支給（木材利用）



木製ベンチの作製

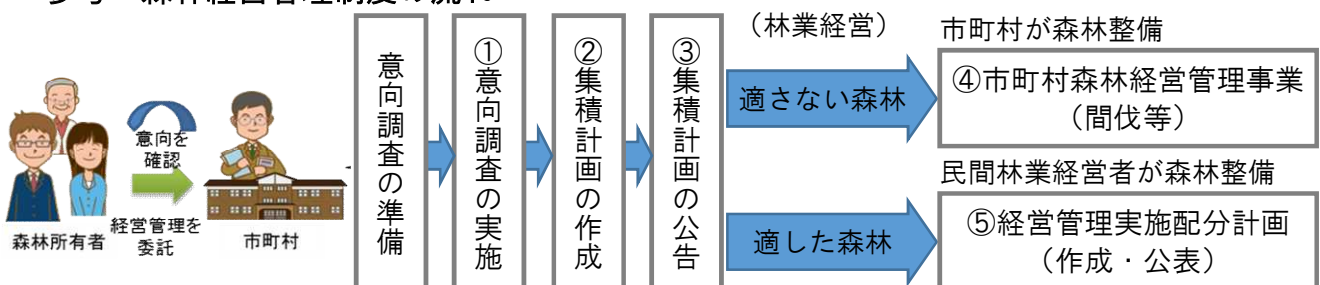
（ベンチ作製の様子）

（作製したベンチ）

（活用の様子）

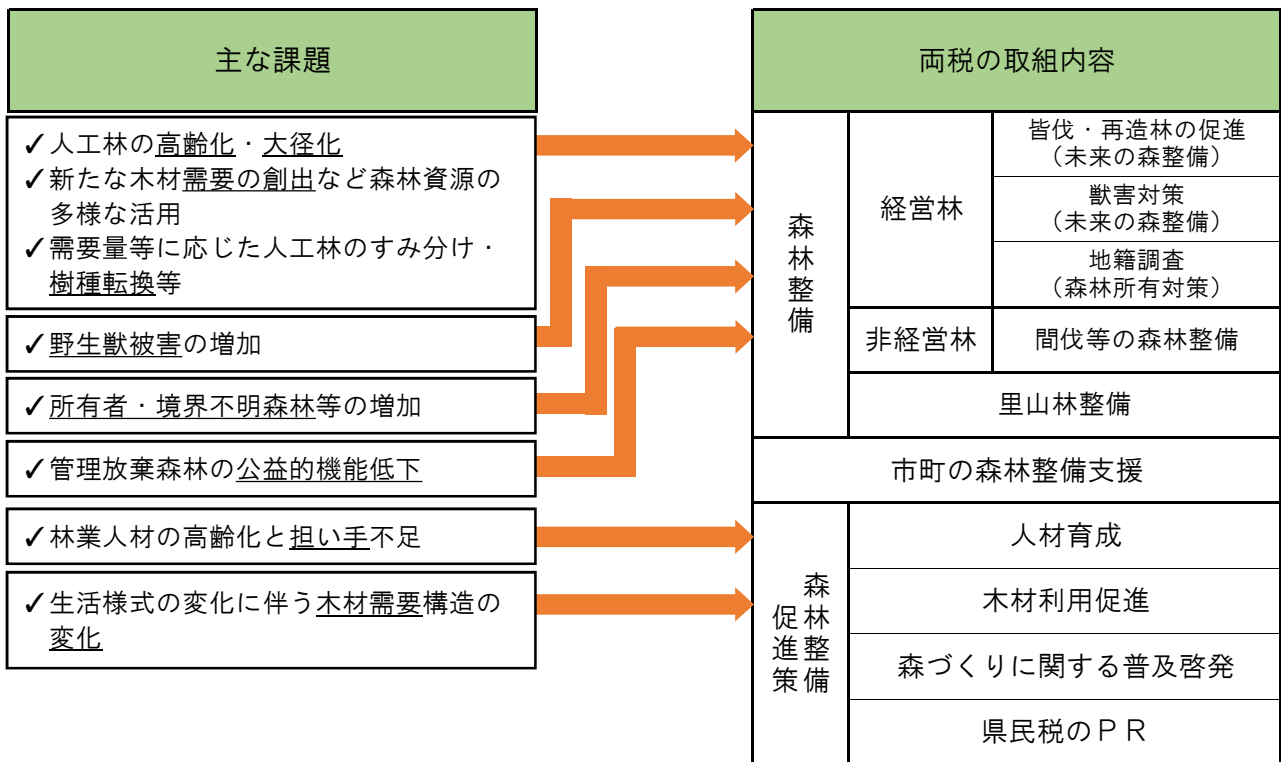
（プレートによる啓発）

～ 参考：森林経営管理制度の流れ ～

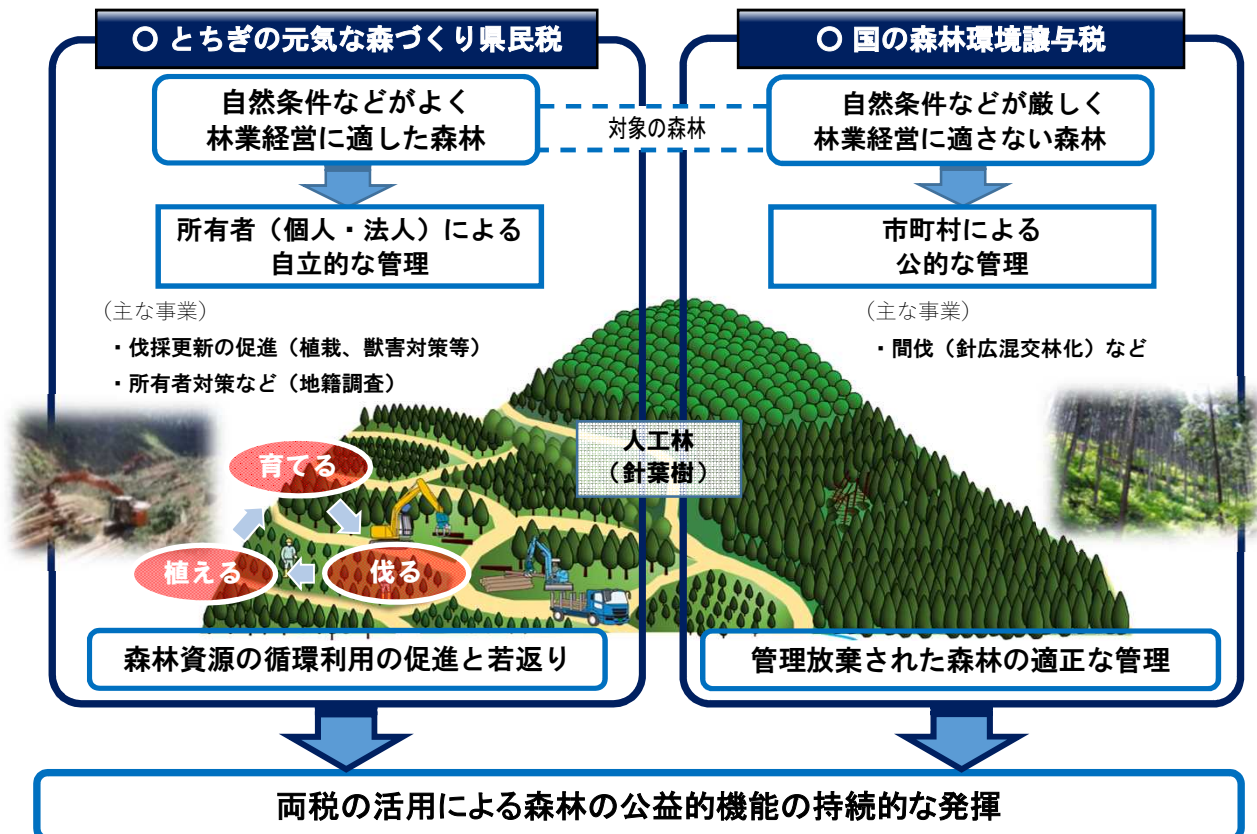


Ⅳ とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の一体的評価

i 課題へ対応した両税の取組



【両税を活用した森林整備イメージ】



ii 両税事業の一体的評価

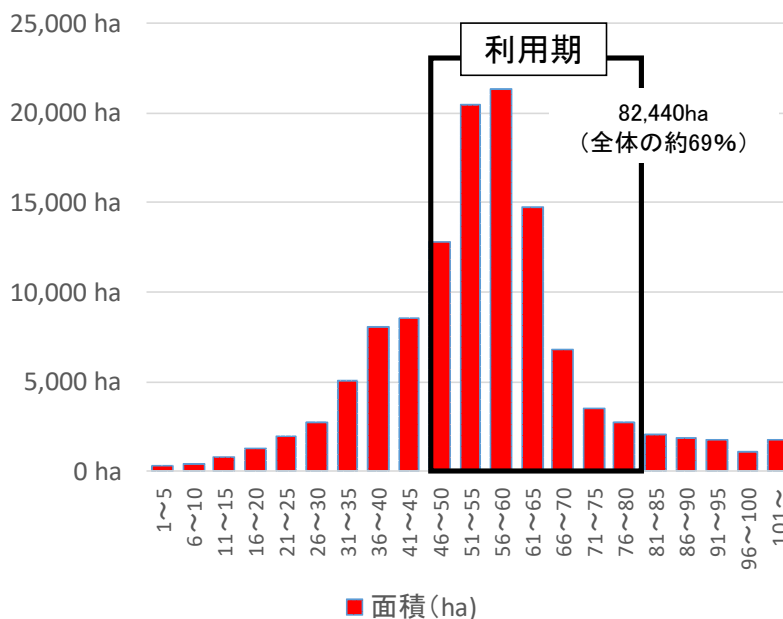
取組内容			県民税事業	森林環境譲与税事業	
				県事業	市町事業
森林整備	経営林	皆伐・再造林の促進 (未来の森整備)	161,966 千円	-	-
		獣害対策 (未来の森整備)	141,342 千円	-	-
		地籍調査 (森林所有対策)	20,599 千円	-	-
	非経営林	間伐等の森林整備	-	-	11 市町 38,748 千円
	里山林整備	市町	22,655 千円	-	市町 千円
団体		119,667 千円	-	-	
市町の森林整備支援			-	6,875 千円	-
森林 促進 整備 策備	人材育成		-	千円	市町 千円
	木材利用促進		99,462 千円	千円	2 市町 10,798 千円
	森づくりに関する普及啓発		11,462 千円	千円	市町 千円
	県民税のPR等		14,725 千円	-	-
	その他		-	千円	1 市町 12,276 千円
計			591,879 千円	県・市町計	68,697 千円

【参考】本県の森林・林業の現状・課題

■森林の林齢構成

- 戦後植林したスギなどの民有人工針葉樹林の約7割が利用期に到来

【栃木県の民有人工針葉樹林の林齢構成】



資料：栃木県「森林・林業統計（2017）」

■森林資源の循環利用の促進

- 森林は、「伐って・使って・植えて・育てる」という森林本来のサイクルを回復（森林資源の循環利用を促進）させることにより、公益的機能を維持・向上

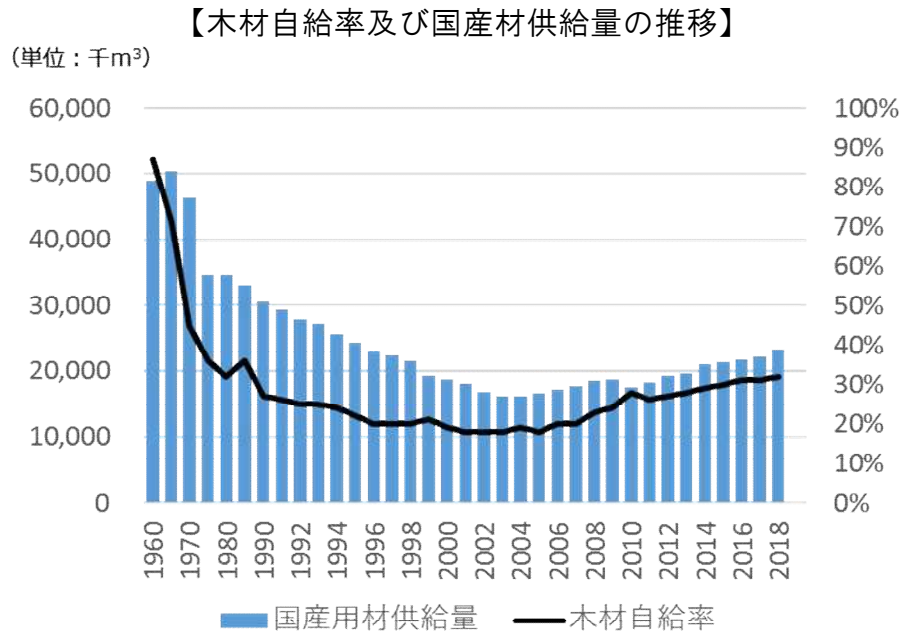
【森林資源の循環利用のイメージ】



資料：林野庁「森林林業白書」

■木材自給率及び国産材供給量

- 合板材やエネルギー利用の需要の増加等により**国産材供給量・木材自給率ともに上昇傾向**

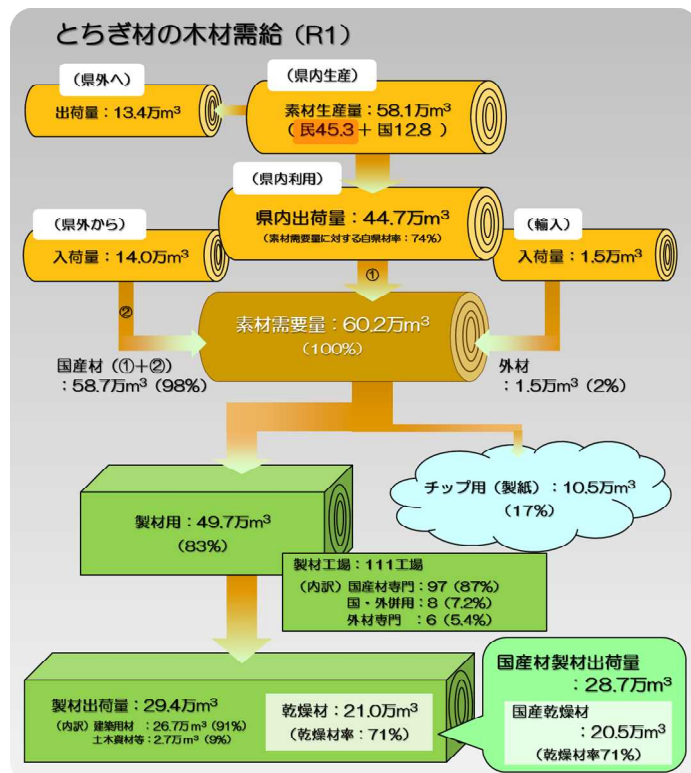


資料：農林水産省「木材需給表」

■木材需給状況

- 令和元年（2019）年度の素材需要量は約60万m³

木材需要に対する素材生産量は74%であり、需要の一部を県外や外国産によりまかなっている現状



資料：農林水産省「令和元年木材統計」

■ 林業就業者数の推移と年齢構成

- 平成25年以降、林業就業者は660人前後で推移65歳以上の占める割合は約16%と増加しており、林業担い手の若返りが課題

【栃木県の林業就業者と高齢化率の推移】

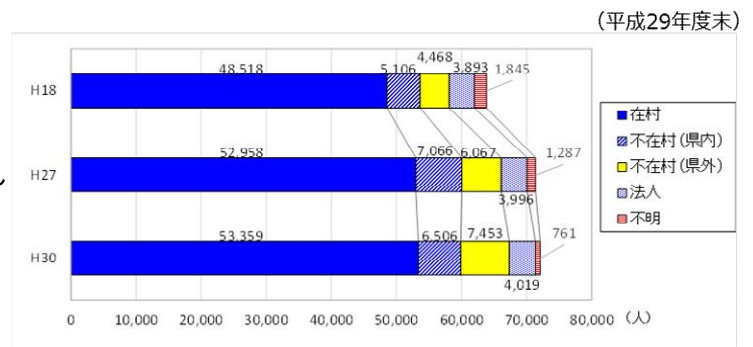


資料：栃木県環境森林部統計

■ 森林所有者の変化

- 所有者の高齢化、山村地域の過疎化等により不在村地主の拡大等が進行しており、所有者・境界不明な森林が増加することで、今後の森林整備や治山事業等に支障をきたす恐れ

【栃木県の在村・不在村別森林所有者数】



資料：栃木県「森林GISデータ」

	在村	不在村(県内)	不在村(県外)	法人
H18→H30増減率	1.10	1.27	1.67	1.03

■ 林地の地籍調査

- 本県の地籍調査の進捗率は、全国と比べても低く、林地は進捗率18%(全国平均：45%)

【本県及び全国の地籍調査進捗率(林地)】

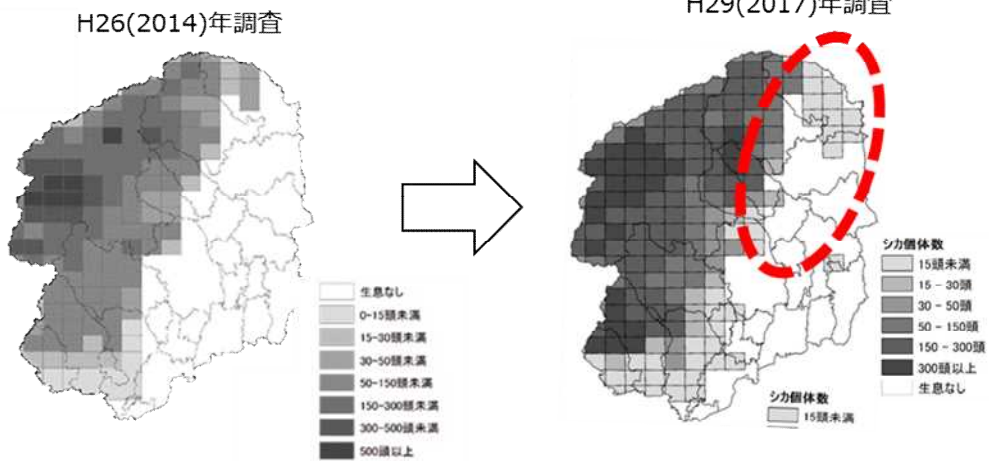
(平成29年度末)

区分	栃木県	全国
進捗率	18%	45%

■野生獣の生息域拡大

- 近年、県北東部へシカ生息域が拡大

【シカ生息分布の変化】



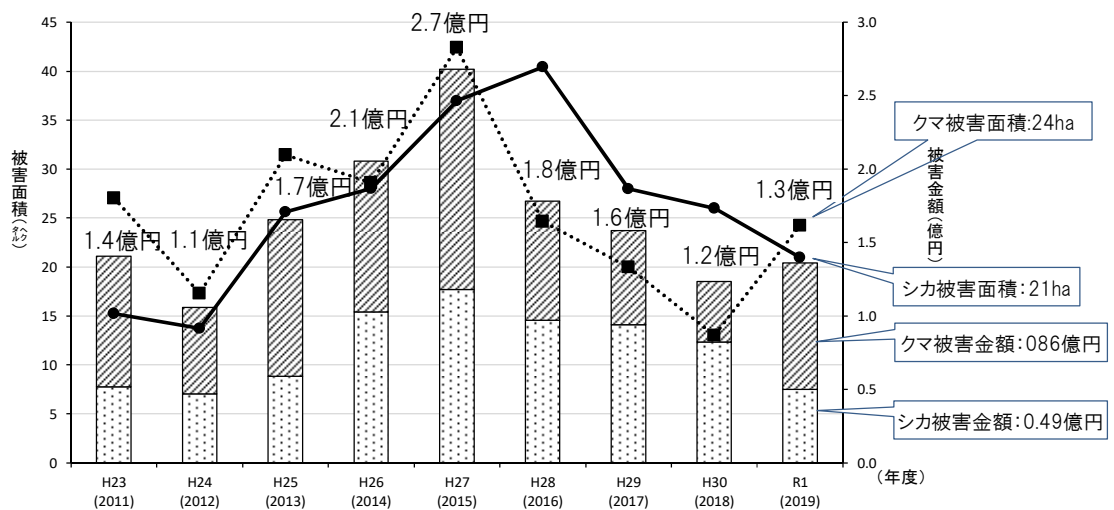
※生息数の調査は、概ね3年おきに実施

資料：環境森林部調査

■野生獣被害の状況

- 林業被害は被害額1～3億円、被害面積30～80haで推移し、近年は減少傾向

【林業被害面積・被害額の推移（シカ・クマ）】



資料：環境森林部調査

○ とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(五十音順)

No.	氏名	所属	備考
1	飯田 絵里	アトリエ・ビーンズ 代表	
2	石川 尚子	栃木県経済同友会 オリオンコンピュータ株式会社代表取締役	委員長職務代理
3	大貫 剛久	栃木県林業振興協会 副会長	
4	阪田 和哉	宇都宮大学 准教授	委員長
5	高田 純子	公認会計士・税理士	
6	豊島 香折	公募委員	
7	二ノ宮 次郎	二宮木材株式会社 代表取締役社長	
8	福島 泰夫	那珂川町長 (町村会)	
9	屋代 ゆき子	栃木県林業振興協会 こもれびの会会員	

(任期：平成30(2018)年6月1日～令和3(2021)年5月31日)